

令和4年4月14日から令和4年7月13日までの出来事を掲載しました。



5月17日(火)に令和4年第2回臨時会が開かれ、去る4月10日(日)に投票が行われた、弘前市議会議員補欠選挙で当選した議員2名を含めた議席の指定及び一部変更が行われました。この写真は、議場で撮影した議員全員の集合写真です。

議 会 ト ピ ッ ク ス

委員会行政視察を約2年半ぶりに実施

行政視察は、市の政策立案や意思決定に資する重要な議会活動です。

令和4年7月11日(月)から13日(水)にかけて、総務・経済文教・建設の3常任委員会は、他の自治体の先進的な取組・事業を現場に赴いて調査・研究するため、行政視察を実施しました。

委員会による視察は令和2年1月以来、約2年半ぶりの実施となりました。

視察で得た知識や経験は、議案の審査の際や、一般質問などで政策を提言する際に生かされています。

総務常任委員会

7月11日(月)～13日(水)

- ①岡山県倉敷市
○平成30年7月豪雨災害後における防災行政について
- ②島根県出雲市
○農業担い手不足へ対応するための各種施策と移住・定住に係る取組の連携について



出雲市役所にて

経済文教常任委員会

7月11日(月)～13日(水)

- ①石川県金沢市
○金沢市持続可能な観光振興推進計画2021について
- ②群馬県前橋市
○OGIGAスクール構想に係る取組について



金沢市役所にて

建設常任委員会

7月11日(月)～13日(水)

- ①長崎県佐世保市
○山の田浄水場の整備事業・運営等について
- ②佐賀県佐賀市
○佐賀駅周辺整備事業について



山の田浄水場(佐世保市)にて

令和4年第2回臨時会

市長提出議案 8件

【会期：令和4年5月17日(火)】

5月補正後の令和4年度予算

一般会計 800億6215万7千円
 (5月補正額 12億4215万7千円)
 特別会計 415億8419万5千円
 (5月補正額 0円)

●令和4年度弘前市一般会計補正予算(第1号)

令和4年度当初予算は、義務的経費、経常的経費及び総合計画に位置付けられている事業を中心とした骨格予算として編成されました。

今回の補正予算は、骨格予算に政策的経費を肉付けするもので、市民の「暮らし」を支え、市民の「いのち」を大切に、次の時代を託す「ひと」を育てる、この3本の柱を基本方針として、市民生活を第一に考え、市民目線で取り組むためのものです。

補正額 12億4215万7千円

人事案件 4件

○弘前市副市長の選任について

でさき かずお
出崎和夫氏

○弘前市監査委員の選任について(2名)

ささき こういち 菊池清夫氏(新任)
 きくち きよお

○弘前市教育委員会の委員の任命について

むらや よう
村谷 要氏(再任)

令和4年第2回定例会

市長提出議案 11件

【会期：令和4年6月3日(金)～6月28日(火)】

●令和4年度弘前市一般会計補正予算(第2号)

物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯への給付金や新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じた上で活動するねぶた団体への活動支援金を計上するほか、弘前ねぶたまつりの感染防止対策に要する経費を追加するものです。

補正額 2億5009万4千円

●令和4年度弘前市一般会計補正予算(第3号)

市民の健康増進と中心市街地のにぎわい創出に係る経費や公共施設休止に伴う利用料収入の損失補償金などを計上するほか、民生委員等活動費増額に係る経費などを追加するものです。

また、そうまロマンチックピアスキー場整備事業に係る地方債の補正をするものです。

補正額 9649万3千円

6月補正後の令和4年度予算

一般会計 809億2093万9千円
 (6月補正額 8億5878万2千円)
 特別会計 415億8419万5千円
 (6月補正額 0円)

●令和4年度弘前市一般会計補正予算(第4号)

原油価格・物価高騰の影響を受けている生活困窮世帯や事業者への支援に係る経費などを計上するほか、当市の歴史的建造物を活用した観光まちづくり事業に要する経費を追加するものです。

補正額 5億1219万5千円

主な補正内容	事業費(千円)
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金	437,887 ※1
原油価格・物価高騰に伴う臨時生活支援助成金	40,000 ※2
交通事業者等事業継続特別対策支援金	25,350 ※1

※1は、全額について国の補助金が財源となっています。

※2は、全額について国と県の補助金が財源となっています。

条例の改正 7件

○弘前市国民健康保険条例の一部を改正する条例案

国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、国民健康保険料の基礎賦課額及び後期高齢者支援金等賦課額の限度額を改定するため、所要の改正をしようとするものです。

○弘前市民会館条例の一部を改正する条例案

弘前市民会館の管理に指定管理者制度を導入するとともに、指定管理者が行う業務の範囲及び管理の基準を定めるため、所要の改正をしようとするものです。



指定管理者制度が導入される
弘前市民会館

人事案件 1件

○弘前市監査委員の選任について（1名）

おかい まこと
岡井 眞氏（新任）

選挙管理委員会は、議会で選挙された4名の委員をもって組織される機関で、委員の選任は議会が行うこととされています。

選挙管理委員の選挙と同時に、委員と同数の補充員を選挙します。

選挙管理委員及び同補充員の選挙

○選挙管理委員の当選人（4名）

くどうかねゆき ひなただひろ
工藤金幸氏（再任）、比内理佑氏（新任）
たけやなおとし しろうゆきお
竹谷直利氏（新任）、白戸幸雄氏（再任）

○選挙管理委員の補充員（4名）

ふじたかつひさ ひきまゆみこ
藤田勝久氏（再任）、引間由美子氏（新任）
さとう ひさし たざわとしみ
佐藤 久氏（新任）、田澤稔美氏（再任）

諮問

1件 ※審査の結果、棄却すべきであると答申しました。

○退職手当支給制限処分に対する審査請求に係る諮問について

退職手当支給制限処分に対する審査請求について、地方自治法第206条第2項の規定に基づき、議会に諮問するものです。

陳情

4件 ※陳情書は議員に参考配付しました。

○陳情書（※女性トイレの維持及びその安心安全の確保について）

○「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書

○沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情

○国立病院の機能強化を求める陳情書

一般質問

質問・答弁の要約を掲載いたします。

※敬称略。登壇順に記載。文責は質問者にあります。

※QRコードを読み取ると、一般質問の録画映像を閲覧することができます。



竹浪 敦
(創和会)



空き家対策について

問 当市の空き家の現状について問う。

答 市は、平成26年度に、空き家の解消を図ることを基本理念とした「弘前市空き家等の活用・適正管理等に関する条例」を制定したほか、平成29年度に、市民の安全で安心な生活環境を確保することを目的とした「弘前市空き家等対策計画」を策定した。

同計画に基づく取組として、老朽化が

進行し、周囲に悪影響を及ぼすおそれのある空き家を除却する所有者等に対し、補助金を交付するなど、様々な対策を継続的に実施しているところである。

空き家の数については、平成28年度の実態調査で把握した1,412件が、5年間で254件の空き家が解体され、令和3年度末時点で1,158件となっており、目標値には若干届いていない状況にはあるが、概ね順調に推移していると考えている。



木村隆洋
(創和会)



コロナ禍における観光行政について

問 今後の観光振興策について問う。

答 市周辺エリアと共に観光資源・交通・初音ミク派生キャラクターなど共通テーマで連携を図り、地域一体でのブランド構築により圏域の入り込み客数や観光消費額の増を目指す。本年3月に登録DMOとなった津軽圏域14市町村で構成されるクランピオニー津軽では、体験型の商品開発及び販売促進や、それぞれの

地域の人材育成などの事業を実施。ウィズ・アフターコロナ社会における旅行形態や国内外の観光ニーズの変化に対応し、持続性ある観光施策を展開していく。

教育行政について

問 第2次弘前市食育推進計画の現状は。

答 これまでの取組は多くの方から評価をいただいている。健康都市弘前の実現に向け、食育推進計画や食育行動プランに基づき各種施策の推進と周知に努める。



松橋 武史
(櫻鳴会)



津軽産ワインぶどうの生産に関わる取組について

問 今後の展開について問う。

答 岩木山の周辺地域を中心に、既存園におけるさらなる品質の向上と新規生産者の確保・育成に取り組み、良質なワインぶどうを安定して生産できる体制を整えながら、将来的に国内外のワインぶどうの産地と並び称されるような産地になることを目指す。

弘前第二中学校建て替え計画について

問 現在、どのような計画で進められているのか問う。

答 令和9年度の完成を目指して、第二中学校校舎の改築を計画している。石川小・中学校等複合施設整備事業をモデルに、公共施設の機能集約も合わせて、学校との複合化を検討する。地域の方々などのご意見を伺いながら基本構想を策定し、進めていく。

一般質問の写真は、過去に撮影した写真も含めて使用しています。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



蒔 苗 博 英
(創和会)



農業行政について

問 農作業省力化・効率化対策事業の実績と予算継続の考えについて伺う。

答 当事業は市独自の補助事業として農業用機械の導入や荷捌き場の整備等を支援し、平成30年度から令和3年度までの交付件数は計327件で、農業機械導入支援253件、荷捌き場等整備支援69件、農業用ハウス整備支援5件。令和4年度の交付見込みは6月1日時点で計154件



成 田 大 介
(無所属)



少子化対策について

問 当市の子育て支援の方向性を伺う。

答 少子化の主な原因と言われる、未婚化や晩婚化、出生率の低下の背景には、出会いの機会の減少や男女の仕事と子育ての両立の難しさ、子育て中の孤立感や負担感、子育てにかかる費用負担の重さなど、様々な要因が絡み合っていると考えられている。市では、子供の成長や発達に応じた切れ目のない支援や、独身者



坂 本 崇
(櫻鳴会)



観光客の誘客について

問 国内の誘客について伺う。

答 JR東日本による7月から9月までの「北東北三県大型観光キャンペーン」と連動した観光PRや東京都各所でのねぶた運行など、誘客促進に向けた取組を強化するとともに、国の補助事業を活用し、歴史的建造物を活用したまちあるきツアーの造成を行うなど、多様化する観光ニーズに対応していく。



竹 内 博 之
(さくら未来)



健康都市弘前について

問 8つの取組のうち、行政サービスを「いつ」市民に還元するのかという観点から、どの施策を最優先で実行するのか。

答 実現に向けた主な取組としては、健康医療関連産業の誘致や、子供医療費の無償化等による子育てしやすいまちの実現のほか、健康づくりのまちなか拠点の整備等により、市民の健康増進とまちのにぎわい創出を図るものなどである。取



齋 藤 豪
(櫻鳴会)



弘前ねぶた300年祭について

問 事業内容について伺う。

答 令和3年3月に弘前ねぶた300年祭実行委員会を組織するとともに、実務者委員会を設置し実施事業を検討してきた。令和3年度は伝統継承を図る事業や弘前ねぶた300年祭筆文字シンプルロゴの作成など機運醸成を図る事業を実施。令和4年度は、ねぶた絵、お囃子などの講習会の実施や記念動画制作など、伝統継承、

で、状況に応じ制度設計を検討しつつ、来年度以降も本事業を継続する。

教育行政について

問 免許教科外教師の現状と今後の対策。

答 今年度の市立中学校では、家庭科8人、技術科7人、美術科6人、保健体育科1人の計22人が県より許可されており、教諭等授業担当者の合計293人で、その割合は7.5%。今後も可能な限り免許教科担任となるよう県と連携し対応する。

の結婚に対する出会いの応援として「弘前めぐりあいサポーター出愛創出事業」などを展開してきた。市としては、新型コロナウイルス感染症が結婚や子育て世代に与える影響を注視しながら、引き続き、安心して結婚や妊娠、出産、子育てが出来て「このまちに住んで良かった」と思えるまちづくりを推進していく。

〈その他の質問項目〉

○市職員研修等 ○インクルーシブ教育

問 インバウンドについて伺う。

答 市は、これまでも海外エージェントからの情報を基に、外国人が期待している観光コンテンツの発掘や磨き上げを行い、さらに民間事業者とともに商品化に着手するなど、誘客に努めてきた。新型コロナウイルス感染症の収束後に予想される訪日旅行の需要に迅速に対応できるよう、積極的な情報発信や情報収集等のインバウンド対策を進めていきたい。

組に順位付けをするのではなく、各種取組を一体的かつ重層的に進めることが重要であると考えている。

市民生活及び地域経済におけるインフレ・物価高対応について

問 市の見解、今後についての対応策は。

答 原油価格や原材料価格高騰の動きは、今後も継続するものと見込まれていることから、新たな対策が必要と判断した際には、しっかりと対応していきたい。

担い手育成、誘客促進、認知度拡大を目的とした4つの事業を実施していく。また、公式応援キャラクターに「初音ミク」を起用。その知名度を活用し全国に開催を広く周知しつつ、市民に対しても、SNSを活用した取組内容の周知などを通し機運を高める。安心安全にまつりを開催できるよう準備を進め、多くの方々にねぶたの魅力を伝え次の世代に継承できるように、各種事業を展開していく。



野村 太郎
(無所属)



子供医療費無償化について

問 市の考え方を問う。

答 全国的に人口減少が進む中、安心して子供を産み育てられる環境の整備は我が国における喫緊の課題であり、子供医療費の負担軽減は、国において全国一律で取り組むべきと考える。しかし現状は、国による子供医療費の助成制度がなく、多くの都道府県や市町村が独自財源で助成を行っている。そのことを踏まえ、市

では本年5月、県選出国會議員に対し高校卒業までの医療費を全国一律で無償とする制度創設について要望し、県に対しても、国の制度創設について働きかけていただくよう要望している。高校卒業までの子供医療費の無償化は、次代を担う子供たちの命を守る取組であるとともに、少子化対策や移住・定住対策にも寄与するものであることから、可能な限り早い時期に実現する。



佐藤 哲
(櫻鳴会)



まちなか拠点整備の進捗状況について

問 スケジュールと利用者や関係機関からの意見の聴取状況、整備の効果を問う。

答 昨年10月に整備の基本構想を策定した。旧市立病院の改修にかかる基本設計及び実施設計業務の契約を前川建築設計事務所と締結し、現在、具体的な条件の整理中で、来年度は実施設計、令和6年度に工事着手の予定。旧第一大成小学校跡地は来年度から設計、令和7年度に工

事着手、令和9年度頃に供用開始の予定だが早期完成を目指す。旧市立病院の設計条件の整理に当たり、市医師会と基本協定を締結し、協議中のほか、移設が想定される健康教室や利用者等に調査を実施。今後は、地域活動団体等の意見を集約し、各分野の団体を加え、市民のニーズを把握し、設計に反映させる。当該整備を進めることで、心豊かに、市民の活力が感じられるまちづくりに取り組む。



樋川 篤子
(さくら未来)



教育現場でのICTの活用状況について

問 タブレットの効果的な活用について。

答 「『弘前式』ICT3点セット」として、多くの場面で効果的な活用を図ってきた。端末を家庭に持ち帰っての活用については、準備の整った学校から開始することとしている。

を受けるための周知方法は。

答 弘前総合医療センターは、地域医療支援病院として、適切な医療を提供するとともに、治療により症状が改善された場合など、かかりつけ医が対応可能となった場合は積極的に逆紹介する医療機関である。今後も、市のホームページを活用するなど、様々な機会をとらえて、弘前総合医療センターの役割等についてさらなる周知を図っていく。

市立病院閉院と弘前総合医療センターについて

問 市民が安心して適切な医療サービス



石岡 千鶴子
(無所属)



さくらまつりについて

問 ぼんぼりについて、廃止に至った経緯と伝統継承の観点から市の考えは。

答 新型コロナウイルス感染症の影響により、直前でのまつり内容の変更や規模の縮小が想定され、例年通りの事業スケジュールでは実施が困難となったためと聞いている。様々な意見や要望があることから、今後のあり方について、主催する4団体で必要に応じて協議していく。

公共施設における自動販売機について

問 「身体障害者福祉法の第22条」により福祉団体に自動販売機の設置を許可すべきと考えるが、市の考えを問う。

答 この法律は、身体障がい者の自立と社会経済活動への参加を促進することを目的としている。福祉団体から売店や自動販売機の設置に関する相談や申請があった際には、法の趣旨にのっとり、対応を検討していく。

令和4年第2回定例会日程 (26日間)

6月3日(金) 本会議	開会、会期の決定、提案理由の説明	6月21日(火) 常任委員会	予算決算
6月4日(土)～6月13日(月)	議案熟考	6月22日(水)～6月27日(月)	議事整理
6月14日(火)～6月16日(木)		6月28日(火) 本会議	各委員長の報告、
	一般質問		質疑、討論、
6月17日(金) 本会議	一般質問、議案付託		表決、閉会
6月20日(月) 常任委員会	総務、厚生、経済文教、建設		



外崎 勝康
(政心公明)



子宮頸がんワクチンについて

問 市の取組、今後の計画について伺う。

答 令和4年4月1日から積極的勧奨が再開され、12～16歳までの定期接種対象者と、キャッチアップ接種の対象者約5,300人には接種の勧奨を行う。正確な情報を発信し、早期の発見、治療を促し、市民の健康寿命延伸を図る。

横断歩道等の道路塗装劣化の対応

問 本数、管理状況を伺う。

答 令和3年度末現在で市内に1,801本。小学校周辺は早期施工に努めており、それ以外は摩耗度の状況で更新。地域ぐるみで事故防止が図られるよう努める。

子供たちをいじめから守る対策について

問 市の対策について伺う。

答 当市では、いじめの疑いの段階で、第一報を教育委員会に報告、校内で直ちに対応することを徹底。一昨年度、昨年度といじめによる重大事態はなかった。



今泉 昌一
(さくら未来)



商業政策全般について

問 「弘前市中心市街地活性化ビジョン」を商業政策にどのように活かしていくのか。

答 中心市街地の価値を向上させることは、地価の維持・上昇により、継続的な行政サービスの提供に必要な安定財源が確保でき、当市の持続可能性の向上につながる。

市では、弘前市中心市街地活性化協議

会や、中心市街地の活性化に関する専門的な知識を有するアドバイザーから意見を伺いながら、本年3月に「弘前市中心市街地活性化ビジョン」を策定した。今年度は、本ビジョンの策定過程において、弘前市中心市街地活性化協議会のワーキンググループから出された意見の具現化と実施に向けた意見交換を行い、民間事業者、NPO等も含めた各主体による取組を支援していく。



越 明 男
(日本共産党)



健康づくりのまちなか拠点整備に係る弘前市医師会との基本協定について

問 協定締結の経緯について。

答 平成30年から検討に着手、医師会からも移設についての意見があった。令和元年度からは市民等懇談会などを開催して基本的な活用方針案を検討してきた。

問 協定の内容について。

答 急患診療所、保健センター、医師会健診センター、医師会館及び医師会看護

専門学校の機能の旧市立病院への移設及び移設後の円滑な施設運営のためのもの。

問 協議のスケジュールについて。

答 年度内に旧市立病院改修に必要な条件整理のため、医師会と協議中。健康寿命の延伸に向けた健康づくりのまちなか拠点の整備に当たり、適切に協議を進め、多くの市民に利用されるよう整備する。

〈その他の質問項目〉○市職員給与の動向○コロナ禍の市財政○防火水槽の現状

弘前市議会ホームページ <http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gikai/index.html>

インターネットによるライブ中継・録画中継、会議録検索システム、議会の日程など、市議会の情報はこちらでご覧いただけます。

弘前市議会 インターネット中継

検索

弘前市議会 会議録

検索



議案等に対する各議員の賛否状況

○は賛成、●は反対。欠は欠席、－は採決に加わらなかったもの。
議長（清野一榮）は採決に加わっていません。賛否が分かれた議案等のみ掲載しております。

議案等名	採決結果	樋川篤子	竹浪敦	竹内博之	成田大介	坂本崇	齋藤豪	福士文敏	石山敬	木村隆洋	千葉浩規	野村太郎	外崎勝康	尾崎寿一	蒔苗博英	松橋武史
【令和4年第2回臨時会】																
賛否が分かれた議案はありませんでした。																
【令和4年第2回定例会】																
弘前市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	○	○	○
弘前市民会館条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	○	○	○



千葉 浩規
(日本共産党)



有機農業の推進と学校給食での利用

問 学校給食での地場の有機農産物の活用についての市の考えを問う。

答 「みどりの食料システム戦略」においても、有機農産物の安定した販路の一つとして学校給食がうたわれており、市としても学校現場における利用は、有機農業の推進の一助になると考えている。

子の看護休暇等について

問 子の看護休暇についての市の考えを

問う。

答 市内事業所に、子の看護休暇制度の周知及び制度の整備について働きかけるとともに、休暇制度を積極的に活用している企業の事例等を紹介するなど、子育てをしながら働き続けることができる労働環境づくりに努める。

〈その他の質問項目〉○市立小中学校における教職員の不足 ○コロナ禍における物価高騰等に直面する生活者支援



石田 久
(日本共産党)



国民健康保険について

問 今後の見通しと保険料の引下げについて問う。

答 令和3年度の保険料率引き下げの検討の際、年金所得以外は10%程度減少する想定で試算。実績は、農業所得が前年の1.5倍となるなど大幅に向上。これにより令和3年度の単年度収支は約7億円の黒字が見込まれ、国民健康保険財政調整基金残高は約25億5000万となる見込み。

今年度初めに試算した収支見通しでは、単年度で約6億円の黒字が見込まれ、今年度末の基金残高が約31億円となる見込み。本年10月開催予定の弘前市国民健康保険運営協議会で来年度以降の保険料率の適正水準を検討することとした。新型コロナウイルス感染症による市民生活への影響が続くことから、市民のいのちとくらしを守ることを念頭に、協議会の意見を伺いつつ適正水準を検討していく。



石山 敬
(創和会)



特定地域づくり事業協同組合制度について

問 市の導入に対する認識、考え方は。

答 本制度は、実施主体の創意工夫により、地域全体の仕事を組み合わせ、年間を通じた仕事を創出することで、地域の担い手の確保など、地域事業者の事業の維持・拡大を推進することが期待されている。市では、県と連携し、分野横断的に検討を進め、本制度の周知に努める。

児童通学路の安全確保対策について

問 通学路合同点検の取組実績は。

答 平成27年度から昨年度までの7年間で延べ73校、危険箇所数は206箇所となっている。そのうち約7割が既に対策済で、今年度対策予定の箇所を含めると約8割となる見込み。通学環境の整備に向け、今後も関係機関と連携し取り組む。

〈その他の質問項目〉
○当市の水田政策について



工藤 光志
(無所属)



市長の選挙公約、政治姿勢について

問 納税貯蓄組合の解散増の要因と今後の対策について。

答 平成21年度に318あった組合数は令和4年度には156組合に減少。組合員の高齢化等による後継者の育成、確保に苦慮する組合が多くなってきている。市開催の研修会では、組合の活性化や後継者育成をテーマにするなど、持続可能な組合のあり方についても検討を行っている。

問 県岩木川浄化センターの下水汚泥肥料化事業について。

答 今年度県では、日本下水道事業団と新たな汚泥有効利用施設建設工事の委託協定を予定しており、令和8年度の供用開始を目指している。下水汚泥の肥料化による循環型社会の推進が図られ、農家の費用負担軽減にもつながるものと考えられるため、市としても県が推進する汚泥有効利用事業に協力していく。

今泉 昌一	小田 桐慶二	鶴ヶ谷 慶市	石岡 千鶴子	石田 久	三上 秋雄	佐藤 哲	越 明男	工藤 光志	清野 一榮	田中 元	宮本 隆志	下山 文雄
○	○	○	●	●	○	○	●	○	-	○	○	○
○	○	○	○	●	○	○	●	○	-	○	○	○

令和4年第2回臨時会審議結果

※議会での慎重審議により、承認、可決、同意となりました。

市長提出議案：8件

予算関係：2件、条例関係：2件、その他：4件

令和4年第2回定例会審議結果

市長提出議案：11件

予算関係：3件、条例関係：7件、その他：1件

※議会での慎重審議により、可決、同意となりました。

諮問：1件

※棄却すべきであると答申しました。

全国市議会議長会 議員表彰

全国市議会議長会より永年勤続表彰があり、6月3日の本会議で以下の議員に対し、表彰状の伝達が行われました。(敬称略。)

一般表彰



在職15年以上
鶴ヶ谷 慶市



在職15年以上
今泉 昌一



在職15年以上
松橋 武史

委員会等活動報告

ひろさき市議会だより 編集特別委員会

- | | |
|--------------|--------------|
| 4月25日(月) 市役所 | 6月28日(火) 市役所 |
| ①掲載内容について | ①掲載内容について |
| | ②編集日程について |

「ひろさき市議会だより」について、ご意見・ご感想などがありましたら、今後の参考にさせていただきますので、電話・ファクス・メールなどでお気軽にご連絡ください。(連絡先は右上にあります。)

表紙の写真大募集!!

- ◎テーマ
弘前市内で撮影された写真(風景・まつり・イベントなど)
 - ◎規格
デジタル写真データ(JPEG形式、サイズ1MB以上、横撮りのみ)
 - ◎応募資格
弘前市に在住・在勤・在学の方
 - ◎応募方法
写真のタイトル(10文字以内)・撮影場所・撮影日・住所・氏名・電話番号を明記の上、メール、郵送、持参。
※メールの場合は、件名に「だより表紙写真」と入力してください。
 - ◎締め切り
締め切りは令和5年1月10日(火)です。また、応募写真が必ずしも採用されるとは限りません。
 - ◎掲載時期
令和5年3月発行予定の第72号
- 【詳しくはホームページ、または議会事務局へ】

所属会派に異動がありました

会派の解消

木 揚 公 明
(令和4年4月18日付)

会派の結成

政 心 公 明
(令和4年4月19日付)

◎鶴ヶ谷 慶市 外崎 勝康
小田桐 慶二 清野 一榮

※敬称略。◎会派代表者。議席番号順に記載。

所属会派の異動(無所属議員)

下 山 文 雄	工 藤 光 志
(令和4年4月19日付)	(令和4年4月20日付)
野 村 太 郎	
(令和4年5月10日付)	

※敬称略。届出日順に記載。

4月10日(日)に投票が行われた弘前市議会議員補欠選挙で当選した、樋川篤子議員、竹浪敦議員の就任に伴い、委員の選任が行われました。

○建設常任委員会
樋川篤子議員、竹浪敦議員

定例会一般質問等のラジオ放送

本会議の傍聴やインターネットでの中継視聴ができない方のため、ラジオ放送もしています。FMアップルウェーブ(周波数78.8メガヘルツ)で、一般質問等の様子を当日午後8時から放送します。
※緊急時、災害時には変更される場合もあり。

議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か

議会(本会議、委員会など)は原則、どなたでも傍聴でき、市役所前川本館4階で受付しております。新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、本会議及び委員会等の傍聴については、マスクの着用や手指のアルコール消毒など、感染症対策にご理解とご協力をお願いいたします。本会議及び予算決算常任委員会は、インターネット中継でご覧になれるほか、市役所前川新館1階市民ギャラリーにモニターテレビを設置し、中継放送もしております。

次回定例会日程(予定)

- | | | |
|------------|----------|------------------------|
| (8月18日(木)) | 議会運営委員会 | 会期日程等の協議) |
| 8月25日(木) | 開会日(本会議) | 開会、会期の決定、
提案理由の説明 |
| 9月22日(木) | 閉会日(本会議) | 各委員長の報告、質疑
討論、表決、閉会 |

※日程、傍聴の取扱いについては、議会開会前にホームページ等でご確認ください。

